

国産木材を無駄なく利用しよう

宮城県仙台第三高等学校 5班

私たちは、近年の日本での急速な林業従事者の減少によって、人の手によって管理されない森林が増加し環境に悪影響を及ぼしている問題を知り、私たちがその現状を解決するために何が出来るのか考え探究を行った。調べていくに当たり、世界的に森林破壊が進み、森林保全の取り組みが促進されている中で、日本においては有り余っている森林を積極的に利用しなければならない現状があることを発見した。このことを知らず、廃れた森林を守ろうとする行動が、実は将来において大きな問題になるのではないかと考え、次世代への意識変革、向上に重点をおいて活動を行った。

キーワード：林業 国産木材 輸入木材 放置林

I. はじめに

日本は世界有数の森林大国で、先進国に限っては世界2位という森林保有率が高い国である。しかしながら輸入木材の使用割合は6割を超え、国産木材自給率は40%ほどにとどまるなど、国産木材を効率よく利用できていない現状がある。そのため国内で使用されずに放置される森林が増加し、森林環境を悪化させている。

一方、世界的に見れば急速な森林破壊が進み、直近30年間で日本の国土のおよそ5倍の森林が失われた。このことは動物たちの住処を大幅に減らし、地球温暖化を促進させることとなってしまった。

このような具体的な数値は知らずとも、森林が減少しているということだけは知っている人が多いと思われる。しかし、日本は世界と異なる状況に置かれていることを知っている人は少ないのではないかと考えた。なぜなら、実際私たちもそうであったからである。そのため私たちは日本人に正しい現状を知ってもらうことが必要であるとし、森林を積極的に利用してもらいたいと考えた。

II. 研究方法

(i)国産木材と利用した家具を制作されている株式会社 KINOWA 様にお話を伺う。

等々を文献調査する。

(iii) 国産木材を利用してもらうために何が出来るのか検討

(ii)国産木材がなぜあまり使われていないのか、なぜ輸入木材に頼っているのか。放置林とはなにか、どんな影響が出るか

⇒ ⇒ 私たちには何が出来るのだろうか？

(iv) KINOWA 様に頂いた絵本を利用し小学生を対象に読み聞かせを中心とした出前授業を計画。

(v)実際に三高近隣の鶴ヶ谷小学校の2学年の児童に授業を実施。



(vi)児童を対象としたアンケートを元に意識調査等の結果をまとめる。

III. 探究内容

・放置林とはなにか。どんな悪影響があるのか
森林は下刈りや間伐といった人の手による人工的な管理が必要不可欠である。しかし近年の

林業の衰退の影響で適切に管理しきれない森林が急速に増加しており、これを放置林と言う。

人の手が入らないということは木が勝手に成長してしまい伸び放題の状態のことである。そのため、林床まで光が届かなくなり、木の根が十分に育たず植生に影響が出る。土壌に栄養が届かないということは水分保有量が少なく、大雨や台風などの自然災害が起こると、表土が流れ出し、土砂災害が起こるリスクが大幅に高くなってしまふ。よって、近年の土砂災害の増加は過剰な伐採ではなく放置林の増加によるものだとも考えられる。さらに放置されている人工林の多くはスギであり、スギ花粉に悩まされる人も増えている。

・林業の衰退

近年の林業の衰退は顕著であり、林業従事者の大幅な減少に伴って高齢化が進んでいる。つまり次世代の担い手がないということだ。



理由・・・

★輸入木材の自由化
輸入木材はが国内の市場に入っていたことにより国内の需要が大幅に減少。

・国産木材と輸入木材を使用の違いは??

・国産木材

耐久性に優れ長持ちする
加工に手間がかかる分見た目も形もきれい
伐採することで山が整備されて災害に強くなる



現時点では流通が多くなく、その分価格も高い

・輸入木材

流通が多く安価で手に入りやすい
木材の種類が多く多様な用途に対応出来る



高温多湿な日本の環境に合わず変形することもある

現地で違法伐採された可能性がある木も含まれている。それらは森林減少悪化をもたらし、正当な取引に悪影響を及ぼす

*現在は禁止はされている

以上のことから・・・

環境に配慮し国内の林業の活性化を図るためにも国産木材を利用していくことが必要不可欠!!



・私たちに何が出来るのか

そこで実際に国産木材の使用を促進する活動を行っている方の生の声を聞きたいということで、株式会社 KINOWA 様にインタビューと協力をお願いした。KINOWA では木材を加工する際などに生じる未使用間伐材を利用した家具作りに取り組んでおり、さらにその家具の作り方をネット上に公開することで自己の再生産を促す活動を行っている。



私が印象に残ったお話が、前に述べた通り日本では本当は森林を守るために林業が必要であるが、やはりその事

実を知って活動に起こしている人はとても少ないとのことだ。多くの人が誤解してしまっている、林業の正しい知識がないことに危機感を覚えた。そこでこれからの未来を担う子どもたちに、幼いうちからは簡単に森林について学べる機会を与えたいと思い、KINOWA 出版の絵本を利用することにした。

・鶴ヶ谷小学校での出前授業

小学二年生の児童約 70 人を対象に授業を行った。「バウムくんとゆめの森」という絵本を使用して読み聞かせ、本を読む前と読んだあとで森林に対する意識がどのように変わったか、どんな考えが浮かんだかなどを発表してもらい、授業後にはアンケートにも答えてもらった。

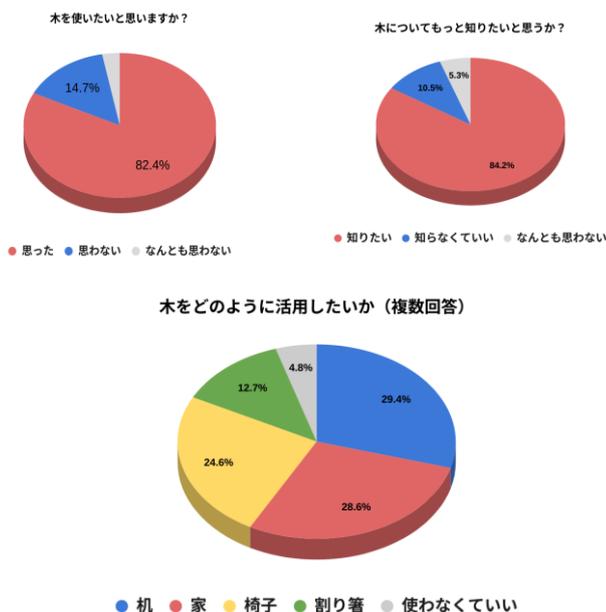
※子どもたちにも日本の森林のことを知ってもらいたいという思いから KINOWA が制作。



非売品であるがご厚意で提供していただいた。

私たちが予想していた通り、ほぼ全員の児童が読み聞かせ前のアンケートで、「木を切つてはいけない、環境が悪くなっちゃう」などと回答。しかし読み聞かせ後は多くの児童が木を切らないといけない状況にあることを理解し、意見を変えた。

※以下は、授業後に行ったアンケートの一部をグラフ化してまとめたものである。



アンケートの中で最も重要視した項目として「木をどのように活用したいか」というものである。やはり子どもたちにとって身近な木材製品として机、椅子が多く挙げられた。さらに、家や割り箸なども挙げたことから、意識せずとも木に関わって、いざ何か、と聞かれると印象に残るものであったと分かった。

授業後に班のメンバーで最も良い木材製品について検討を重ねた。やはり、身近な机や椅子はもちろん大切であるが、大量生産するため、国産木材を使つての生産は現実的ではないと考えた。そこで少ない木材で小学生でもに作れる鉛筆立てが最も良いのではないかと答

えにたどり着いた。実際に試作をするところまで行いたかったが時間がなかった。

さらに絵本を読んで木に興味が出たことで、森林についてもっと知りたい児童も増え、関心の向上が見られた。一部を抜粋して紹介する。

- ・木は何種類あるのか
 - ・木はどのように加工するのか
 - ・何年で木は育つのか
- など...

今回は二年生のみへの授業となったが、幼いうちから、日本の木について知ってもらえる機会はなかなかないため、双方にとって実りあるものとなった。

IV.考察

KINOWA 様に伺ったお話の中でとても大切だと感じたのは、最初に触れた通り日本では木を積極的に使わなくてはならないことを知らず、林業＝森林破壊という批判があるということ。私はこれを聞いて、本当は森林を守るために必要な林業を、多くの人が誤解してしまっている、正しい知識を得る必要があると考えた。

もし、全員が国産材を使うことのメリットを知り、森林を守るために木材を利用したら、林業の需要は高まって、環境も良くなって、木材の国内自給率の向上は間違いない。ただ、今のままではアンケートでも見られたように、森林保護という根付いた考えを変えて、大人にも広めるのは難しい。そのため次世代を担う私たちの世代以降に伝えられれば環境の改善が少しは見られるのではないかと考える。

V.まとめ

私たちの探求では森林保護の重要性ではなく適切な伐採必要性について述べてきた。実際に私達自身が誤解していた部分も多く、新しい視点で森林を見つめることができ得られた物がとても多かった。林業が衰退している、世界で森林破壊が進んでいるなどというのはほぼ全員が知っている一般常識のようなものだが日本の正しい現状を理解している人はまだ少ない。国産木材がもっと普及して日本の林業市場が活性化し、それが環境保護に繋がるサイクルが完成するというのが私の一番の本望である。少しでも多くこの課題に関わり、改善に向けて、大学での研究活動や将来の目標の仕事に活かしていきたいと思う。

株式会社文祥堂 KINOWA 2022

<https://www.bunshodo.co.jp/kinowa/about/>

2004-2023 林業学習館

<https://www.shinrin-ringyou.com/ringyou/>

SpaceShipEarth 阪口 竜也監修

<https://spaceshipearth.jp/deforestation/>

環境省 世界の森林を守るために

<https://www.env.go.jp/nature/shinrin/download/DemaeKoza.pdf>

世界の森林率 globalnote

<https://www.globalnote.jp/post-1716.html>

林野庁 クリーンウッド

https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/goho/bro/attach/pdf/brochure_5_20210112.pdf

シルバニアホーム 国産材 外国産材

https://www.sylva.co.jp/topics/details_169.html?category=4